

2026年4月(2・3階 回復期リハビリテーション病棟入院料 1)の実績指数

(2025.11月~2026.4月...6か月間)

	全体	2階	3階
① 回復期リハビリテーションを要する状態の退棟患者数	113	59	54
② ①のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数	78	45	33
③ ②の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点を控除したものの総和 (点)	2894	1708	1186
④ ②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	57.71	34.54	23.17
⑤ リハビリテーション実績指数 (③ / ④)	50.15	49.45	51.19

計算対象から除外した患者について

	全体	2階	3階
⑥ 入棟患者数	22	11	11
⑦ 高次脳機能障害患者が退棟患者数の40%以上であることによる除外の有無	無	無	無
⑧ ⑦による除外がある場合は除外後の入棟患者数	-	-	-
⑨ リハビリテーション実績指数の計算対象から除外した患者数	6	3	3
⑩ 除外割合 (⑨÷(⑥又は⑧))	27.3%	27.3%	27.3%



2026年 4月(2・3階 回復期リハビリテーション病棟入院料 1)の実績 (2月・3月・4月…3ヵ月合計)

		全体	2階	3階
①	退棟患者数	53	27	26
②	(他保健医療機関へ転院した患者数)	(5)	(3)	(2)
③	重症者数(入院時の日常生活機能評価が10点以上又はFIM総得点が55点以下の患者数)	42	23	19
④	重症者のうち、退院時の日常生活機能評価が、入院時に比較して4点以上又はFIM総得点が16点以上改善していた患者数	31	21	10
) 疾患別内訳 ((1)脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	10	4	6
	(2)大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は、2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	36	21	15
	(3)外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	5	1	4
	(4)大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0	0	0
	(5)股関節又は膝関節の置換術後の状態	2	1	1
	(6)急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0	0	0
	(1)～(6)に準ずるもの	0	0	0
在宅復帰率 (①-②)/①		90.6%	88.9%	92.3%
重症復帰率 ④ / ③		73.8%	91.3%	52.6%

